

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	COLOR		
○保護者評価実施期間	令和8年3月16日		～ 令和8年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年3月16日		～ 令和8年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化しないように工夫している。		・支援プログラムをガイドラインに定められている4つの基本活動に分けて見える化することで、より計画的に経験の場が提供できるようにしていきたい。
2	・日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証や改善につなげている。		・職員ひとりひとりの気づきを職員全体の気づきとし、次の支援へとつなげていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動や支援等、保護者同士の交流の機会が少ない。また同様にきょうだい向けのイベントの開催の機会がない。	・保護者同士の交流する機会が少ない。 ・きょうだい向けのイベントを開催していない。	・定期的に保護者の方に事業内容や活動内容を伝えられるような機会や保護者同士の交流の機会を継続して設けていきたい。 ・参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容等、保護者の意向を取り入れていきたい。
2	・事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル等が策定されているが、保護者に周知出来ない。	・マニュアルを保護者に対し周知・説明する機会を設けていない。	・AED使用、感染症対策等、職員間で実施している取り組みについても、保護者と共有できるような様々な形で発信していきたい。
3	・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難その他の必要な訓練が行われている。(2回/年)	・訓練の実施について見える化が不十分である。	・訓練での様子や課題や気づきをその都度保護者に見える化し、共有していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 COLOR

公表日 令和8年5月28日

利用児童数 10

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1			*広い部屋が2つあり、一々だと割れます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	4		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画がさくされているか	9	1			*いつも詳しく説明してくれるのでわかりやすい。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」(本人支援及び移行支援)、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10					
	8 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	10				*カレンダーで活動がわかるようになっており、季節ごとに違ってよいと思う。 *活動の予定のカレンダーで様々な活動があるので工夫されていると思います。	
	9 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	5	1		4		・保育所等との交流や、地域との交流の機会を増やしていく。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	1			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)が行われているか	2	3	2	3		・ペアトレの必要だ感じているので機会を設けていく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか	8	2			・毎回小さな事でも伝えてくれる。 ・ノートでその日の様子を詳しく書いて頂いているので状況がわかりやすいです。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか	8	2			*計画的な説明の際に、連絡やアドバイスもしています。	保護者の方の不安を少しでも解消するお手伝いができるように面談や助言等ができる機会を増やしていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	1	2	3	4		
	16 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	3				
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1	1		*連絡ファイルの書類がまとまっているのでわかりやすい。	
	18 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	3		1		
19 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10						

非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	1	3	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、球出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	1	4	
満足度	22	こどもは通所を楽しみにしているか	10	1			・行きおろもあつたが、楽しんで帰ってきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	9	1			・今後も身体・心の成長に期待して関わらせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		COLOR				公表日 令和8年5月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6				
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	7	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1			
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援の「発達支援（本人及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」を示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6				
	13	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	14	活動のプログラムの立案をチームで行っているか	5	1			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1			
	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6				

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5			
	24					
	26		5			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(用地部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等のを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	年2回実施	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	38	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		毎月活動計画書を発行	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	44	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	COLOR		
○保護者評価実施期間	令和8年3月16日		～ 令和8年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年3月16日		～ 令和8年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化しないように工夫している。		・支援プログラムをガイドラインに定められている4つの基本活動に分けて見える化することで、より計画的に経験の場が提供できるようにしていきたい。
2	・日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証や改善につなげている。		・職員ひとりひとりの気づきを職員全体の気づきとし、次の支援へとつなげていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動や支援等、保護者同士の交流の機会が少ない。また同様にきょうだい向けのイベントの開催の機会がない。	・保護者同士の交流する機会が少ない。 ・きょうだい向けのイベントを開催していない。	・定期的に保護者の方に事業内容や活動内容等を伝えられるような機会や保護者同士の交流の機会を継続して設けていきたい。 ・参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容等、保護者の意向を取り入れていきたい。
2	・事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル等が策定されているが、保護者に周知出来ない。	・マニュアルを保護者に対し周知・説明する機会を設けていない。	・AED使用、感染症対策等、職員間で実施している取り組みについても、保護者と共有できるような様々な形で発信していきたい。
3	・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難その他の必要な訓練が行われている。(2回/年)	・訓練の実施について見える化が不十分である。	・訓練の様子や課題や気づきをその都度保護者に見える化し、共有していきたい。

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 COLOR

令和8年5月28日

2026/3/16

2026/3/30 2

回収数 2

		2026/3/16		2026/3/30 2		ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	はい	どちらとも いえない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	1	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の適切になされているか	1	1			
適切 な 支 援 の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	2				
	5	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	2				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	1			
保 護 者 へ の 説 明 等	7	支援内容、利用者負担等のついて丁寧な説明がなされたか	2				
	8	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができているか	2				
	9	保護者に対して面談や、育児に対する助言等の支援が行われているか	2				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	1		1		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに。子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2				
	12	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2				
	13	定期的に通信やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1	1			
14	個人情報に十分注意しているか	2					
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明しているか。	2				
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	2				
満 足 度	17	こどもは通所を楽しみにしているか	2				
	18	事業所の支援に満足しているか。	1	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 COLOR

公表日

2026/2/16

2025/2/20

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係が適切であるか	5			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の適切になされているか	5			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	5	保護者向け評価表を活用する等よりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		1	
	6	この自己評価の結果を。事業所の会報やホームページなどで公開しているか	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1		
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		1	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めて細やかに設定して支援しているか	5		1	
	14	子ども状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	5			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	1	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	3		1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		
	28	日頃から子ども状況を保護者と伝え合い、子ども発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
保護者への	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2		
	33	子ども保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2		
	35	個人情報に十分注視しているか	5			
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	1	1	3	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症他応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		1	